

2023年度 第3四半期決算

決算説明会資料

2023年11月10日
横浜ゴム株式会社

第3四半期累計実績

<第3四半期累計実績>

売上収益：6,925億円
(過去最高)

事業利益：492億円
(過去最高)

当期利益：446億円
(過去最高)

- ◆ **タイヤ**
増収増益 (海上運賃減、未実現利益悪化)
- ◆ **YOHT**
販売量減、高利益率維持
- ◆ **Y-TWS**
買収一過性費用
- ◆ **MB**
大幅増益 (コンパヤベルト/海洋/航空部品)

業績予想

<通期>

売上収益：1兆円

事業利益：900億円
(前回予想比 +55億円)

- ◆ **タイヤ**
上方修正 (冬用タイヤ減、海上運賃/固定費改善)
- ◆ **YOHT**
販売量減、高利益率維持
- ◆ **Y-TWS**
販売量減、高利益率維持
- ◆ **MB**
据え置き

資本効率

□ 成長戦略

✓ Y-TWS

第3四半期事業利益 **過去最高**
(※償却前事業利益：除く償却費/一時費用)

□ 資産売却

✓ 政策保有株式売却

第3四半期累計
売却収入 約 215億円

年間売却収入 (予定) 300億円超

□ キャッシュ・フロー創出力

✓ 営業キャッシュ・フロー

第3四半期累計 1,003億円
(過去最高)

2023年度 第3四半期 連結業績

損益実績（第3四半期累計）



為替レート	US\$ 138円	128円(前期)	+10円
	EUR 150円	136円(前期)	+14円
	RUB 1.7円	1.9円(前期)	▲0.2円
TSR20※	134 ^{ポイント}	163 ^{ポイント} (前期)	▲29 ^{ポイント} ※SICOM TSR20 1M
WTI	77 ^{ドル}	98 ^{ドル} (前期)	▲21 ^{ドル}

(億円)

	2023年 1-9月	2022年 1-9月	増減	増減率	為替 影響	為替除く 増減
売上収益	6,925	6,158	+767	+12.5%	+237	+530
事業利益 ※1 (事業利益率)	492 (7.1%)	461 (7.5%)	+31 (▲0.4%)	+6.7%	+64	▲33
営業利益 (営業利益率)	524 (7.6%)	453 (7.4%)	+70 (+0.2%)	+15.5%	+65	+5
当期利益 ※2	446	333	+113	+33.9%		

※1 事業利益 = 売上収益 - (売上原価 + 販売費及び一般管理費)

※2 親会社の所有者に帰属する当期利益

事業別セグメント (第3四半期累計)



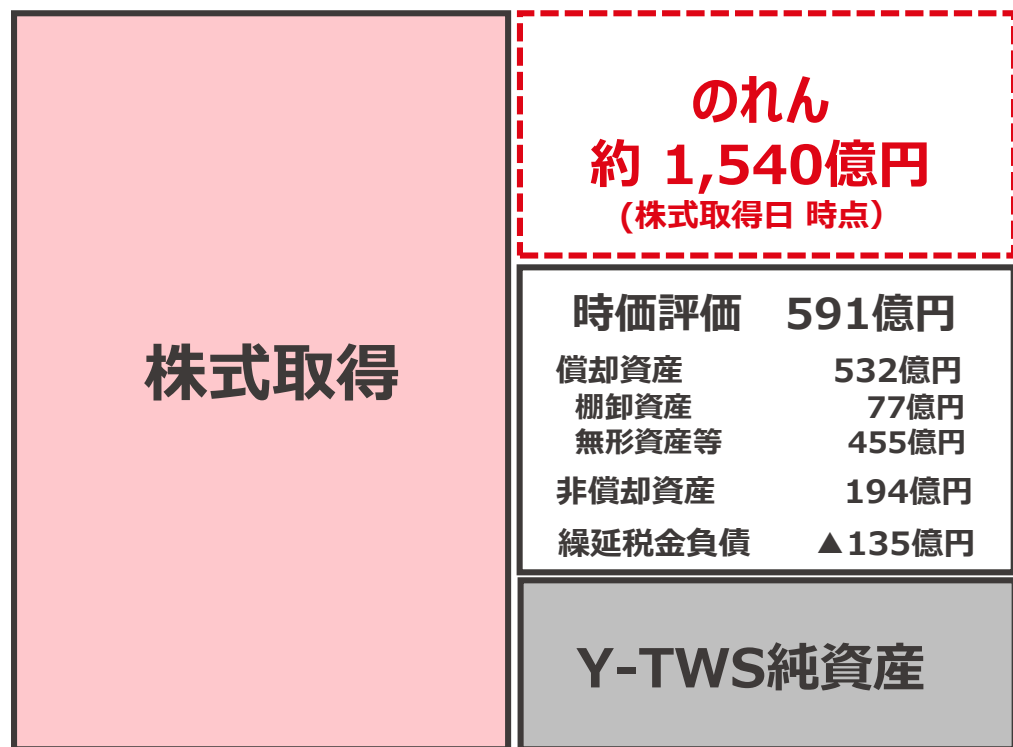
(億円)

		2023年 1-9月	2022年 1-9月	増減	増減率	為替 影響	為替除く 増減
売上 収益	タイヤ 合計	6,129	5,394	+736	+13.6%	+212	+524
	(タイヤ)	(4,470)	(4,193)	(+278)	(+6.6%)	(+137)	(+141)
	(YOHT)	(986)	(1,201)	(▲215)	(▲17.9%)	(+75)	(▲290)
	(Y-TWS)	(673)	-	(+673)	-	-	(+673)
	MB	729	686	+43	+6.3%	+25	+18
	その他	66	78	▲12	▲14.9%	+0	▲12
	合計	6,925	6,158	+767	+12.5%	+237	+530
事業 利益	タイヤ 合計	448	438	+9	+2.1%	+58	▲49
	(タイヤ)	(338)	(261)	(+77)	(+29.7%)	(+49)	(+29)
	(YOHT)	(120)	(177)	(▲58)	(▲32.5%)	(+9)	(▲67)
	(Y-TWS)	(▲11)	-	(▲11)	-	-	(▲11)
	MB	44	17	+26	+152.0%	+6	+20
	その他	0	5	▲4	▲91.2%	+0	▲4
	セグメント間消去	0	0	▲0	▲29.3%	-	▲0
	合計	492	461	+31	+6.7%	+64	▲33

BS影響

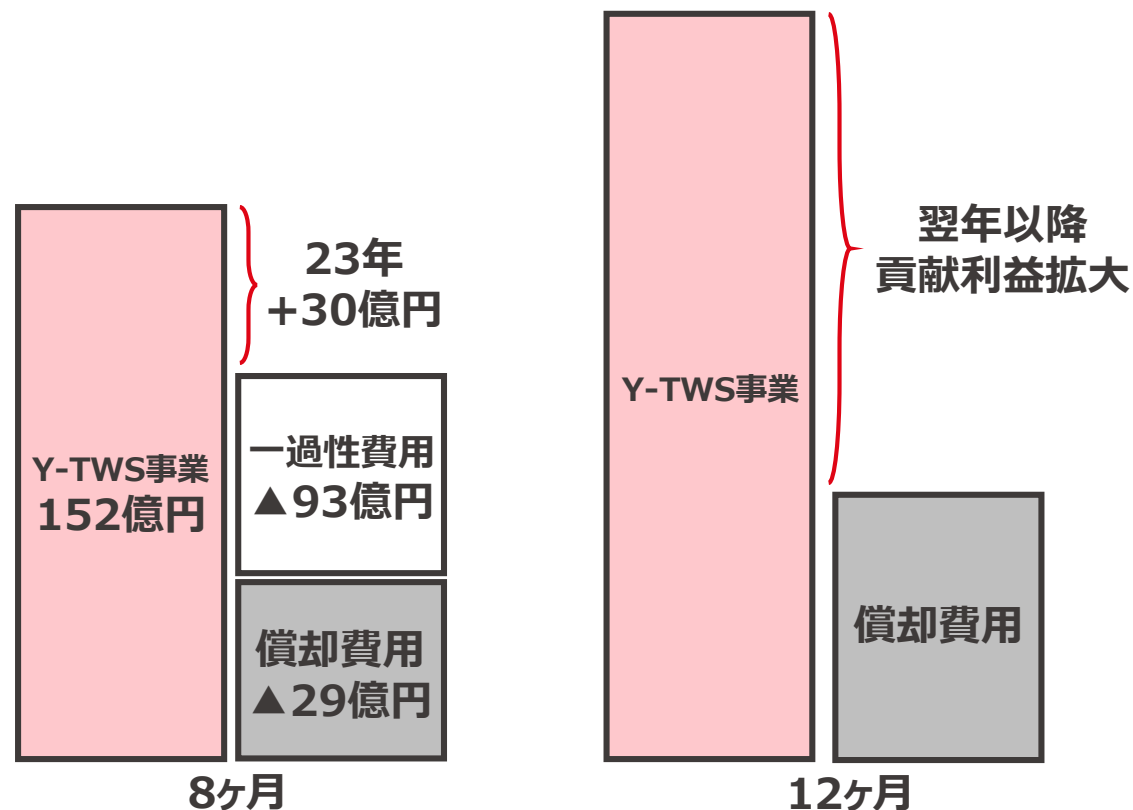
- 買収時点におけるY-TWSの資産・負債を公正価値で時価評価
- 純資産に時価評価による増加分 591億円を加え
取得対価から差し引いて算出されるのれんは約1,540億円

(のれん 8月説明時 約1,530億 ⇒ 価格調整条項に基づく支払を反映)



PL影響イメージ

- 2023年は8ヶ月分の獲得利益が寄与するも、棚卸資産や専門家費用などの一過性費用を計上
- 翌年度以降は12か月分の獲得利益に加え、一過性費用がなくなるため貢献利益は大きく増加



※上記金額は精査中であり、暫定的な会計処理となります。

第3四半期 実績

(単位 億円)

	2023年 7-9月	2022年 7-9月	増減	増減率
売上収益	368	413	▲44	▲10.8%
事業利益 (償却前)	51	44	+8	+17.3%
(事業利益率)	(13.9%)	(10.6%)	(+3.3%)	
一過性費用	▲41			
償却費用	▲11			
事業利益 (償却後)	▲1			

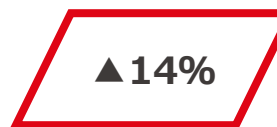
価格スプレッド +23
販売量 ▲20
他 +5

価格スプレッド (価格MIX/原料/物流費等)
他 (為替差/製造原価/固定費)

第3四半期 販売状況

- 厳しい環境の中、ブランド力を生かしてシェアアップ
- 事業利益 (償却前) は、過去最高を達成

TWS販売実績



・販売実績 (t)

AG市場



・欧米市販用本数：当社推定値

2023年 通期 業績予想 (8ヶ月分)

(単位 億円)

	2023年 5-12月	2022年 5-12月	増減	増減率
売上収益	1,020	1,171	▲151	▲12.9%
事業利益 (償却前)	152	129	+23	+18.1%
(事業利益率)	(14.9%)	(11.0%)	(+3.9%)	-
一過性費用	▲93			
償却費用	▲29			
事業利益 (償却後)	30			

価格スプレッド +76
販売量 ▲54
他 +2

(単位 億円)

前回予想	前回比 増減
1,100	▲80
158	▲6
(14.4%)	(+0.5%)
▲89	▲4
▲27	▲2
42	▲12

事業利益増減要因

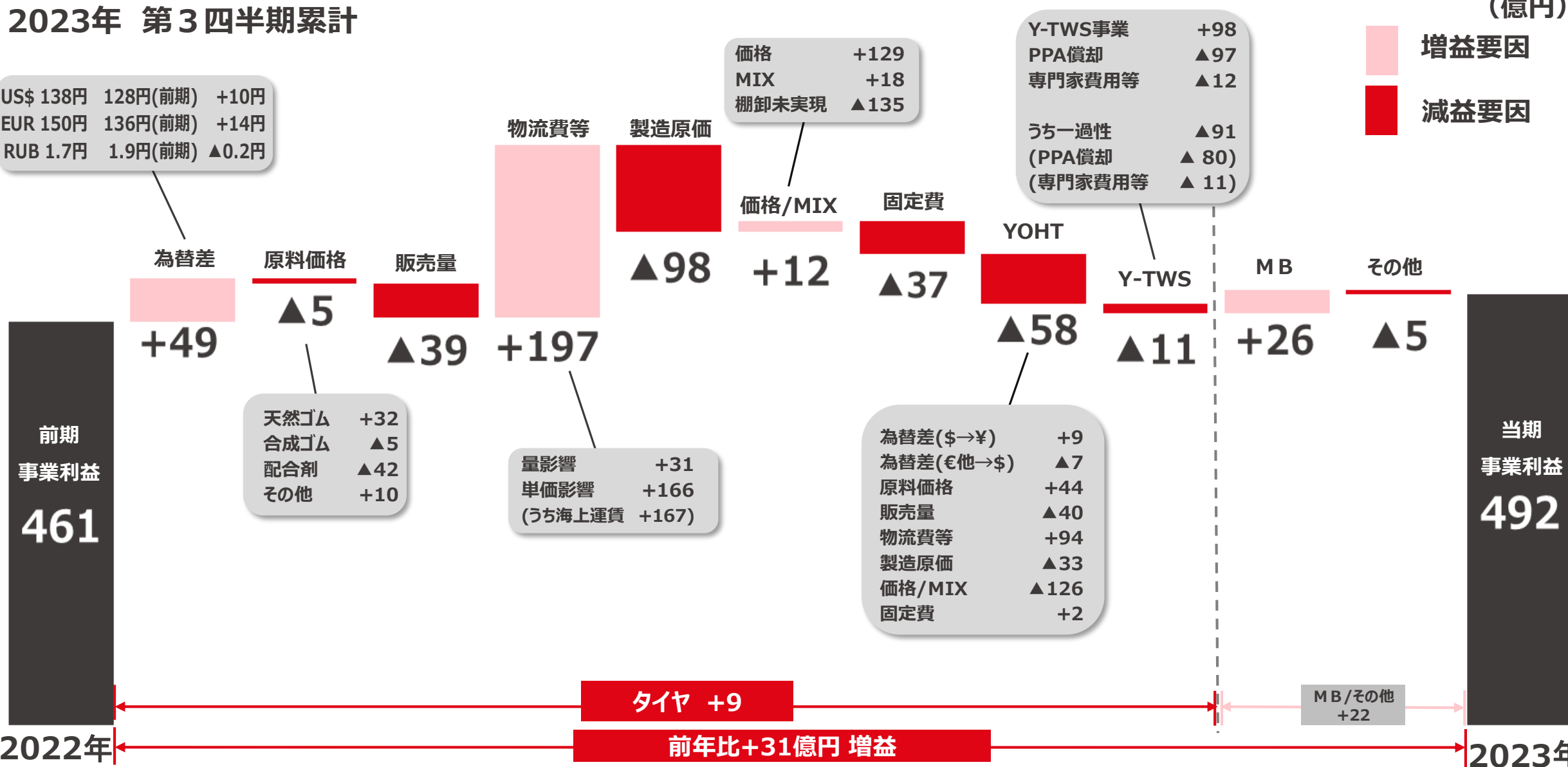


2023年 第3四半期累計

(億円)

US\$ 138円 128円(前期) +10円
 EUR 150円 136円(前期) +14円
 RUB 1.7円 1.9円(前期) ▲0.2円

増益要因
 減益要因



損益実績 (第3四半期)



為替レート	US\$ 145円	138円(前期)	+6円
	EUR 157円	139円(前期)	+18円
	RUB 1.5円	2.3円(前期)	▲0.8円
TSR20※	131 ^円	147 ^円 (前期)	▲16 ^円 ※SICOM TSR20 1M
WTI	82 ^{ドル}	92 ^{ドル} (前期)	▲9 ^{ドル}

(億円)

	2023年 7-9月	2022年 7-9月	増減	増減率	為替 影響	為替除く 増減
売上収益	2,493	2,243	+251	+11.2%	+31	+219
事業利益 ※1	236	184	+53	+28.6%	+7	+46
(事業利益率)	(9.5%)	(8.2%)	(+1.3%)			
営業利益	242	184	+58	+31.6%	+7	+51
(営業利益率)	(9.7%)	(8.2%)	(+1.5%)			
当期利益 ※2	169	100	+69	+69.4%		

※1 事業利益 = 売上収益 - (売上原価 + 販売費及び一般管理費)

※2 親会社の所有者に帰属する四半期利益及び当期利益

事業別セグメント (第3四半期)



(億円)

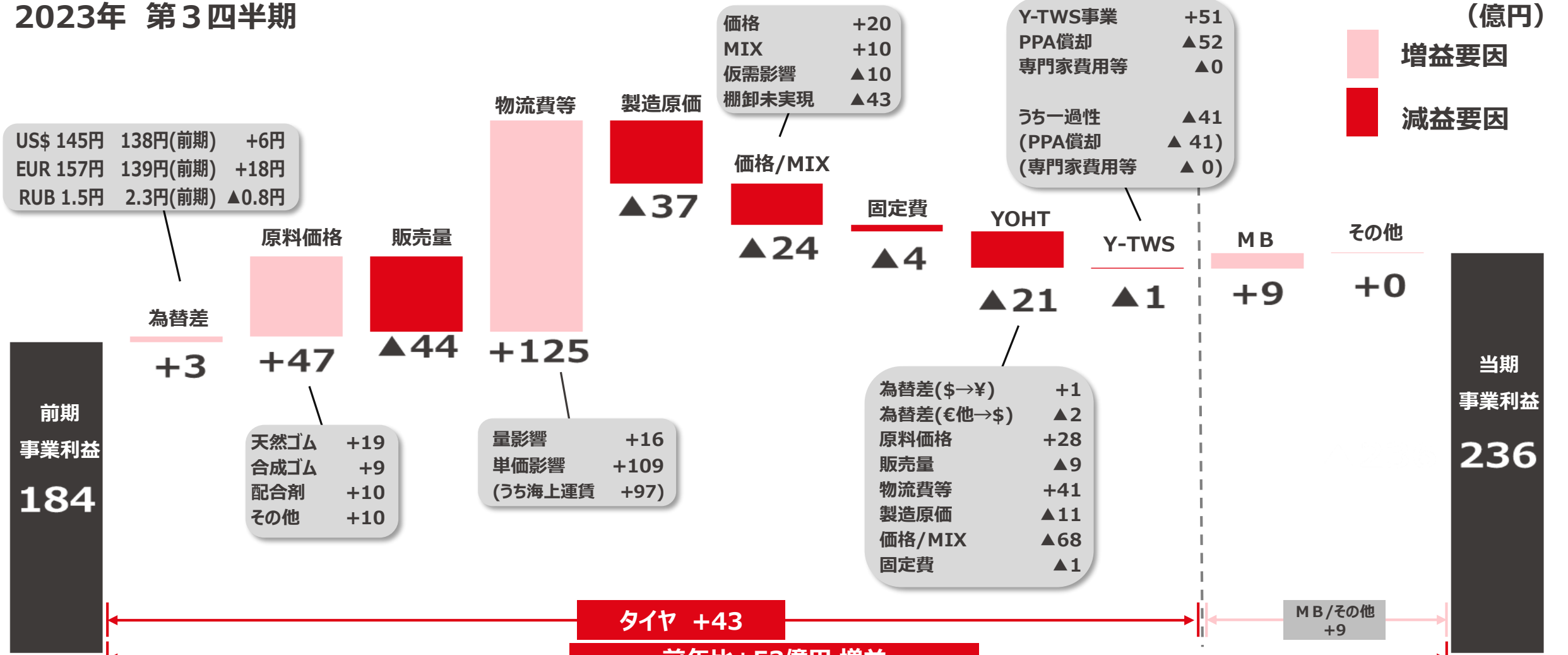
		2023年 7-9月	2022年 7-9月	増減	増減率	為替 影響	為替除く 増減
売上 収益	タイヤ 合計	2,235	1,982	+253	+12.8%	+25	+228
	(タイヤ)	(1,552)	(1,572)	(▲20)	(▲1.3%)	(+11)	(▲31)
	(YOHT)	(315)	(410)	(▲95)	(▲23.2%)	(+14)	(▲109)
	(Y-TWS)	(368)	-	(+368)	-	-	(+368)
	MB	239	234	+4	+1.9%	+6	▲2
	その他	20	27	▲7	▲25.8%	+0	▲7
	合計	2,493	2,243	+251	+11.2%	+31	+219
事業 利益	タイヤ 合計	218	175	+43	+24.8%	+5	+38
	(タイヤ)	(183)	(118)	(+65)	(+55.5%)	(+3)	(+62)
	(YOHT)	(36)	(57)	(▲21)	(▲37.4%)	(+2)	(▲23)
	(Y-TWS)	(▲1)	-	(▲1)	-	-	(▲1)
	MB	16	7	+9	+124.7%	+2	+7
	その他	2	2	+0	+10.0%	+0	+0
	セグメント間消去	0	0	▲0	▲45.6%	-	▲0
	合計	236	184	+53	+28.6%	+7	+46

事業利益増減要因 (第3四半期)



2023年 第3四半期

(億円)



	為替差	原料価格	販売量	物流費等	製造原価	価格/MIX	固定費	YOHT	Y-TWS	MB	その他	合計
2022年 第2四半期	+7	+7	+1	+84	▲30	▲41	▲11	▲25	▲10	+8	▲4	▲15
2022年 第1四半期	+39	▲59	+4	▲11	▲31	+77	▲22	▲11	-	+9	▲1	▲7

財務状況 (前期末比)



(億円)

	23/9月末	22/12月末	前期末比 増減
流動資産	6,338	5,040	+1,298
現金及び現金同等物	1,114	756	+358
営業債権及びその他の債権	2,294	1,937	+356
棚卸資産	2,644	2,164	+480
その他の資産	287	183	+104
非流動資産	10,214	6,471	+3,743
資産合計	16,552	11,511	+5,041
負債	8,959	5,280	+3,679
資本	7,593	6,231	+1,362
負債・資本合計	16,552	11,511	+5,041
有利子負債 (※1)	5,309	2,387	+2,922
自己資本比率 (%)	45.4%	53.4%	▲8.0%
D/Eレシオ	0.71	0.39	+0.32
ネットD/Eレシオ	0.56	0.27	+0.29

※1 有利子負債には、「リース負債」を含めておりません。

	(億円)		
	2023年 1-9月	2022年 1-9月	前年比 増減
営業活動によるCF	1,003	34	+ 969
投資活動によるCF	▲ 3,362	▲ 389	▲ 2,973
フリー CF	▲ 2,359	▲ 355	▲ 2,004
財務活動によるCF	2,663	664	+ 1,998
現金同等物の期末残高	1,114	836	+ 277

2023年度 業績予想

2023年度 業績予想 (通期)

(前回予想から変更あり)



2023年度10月以降 想定

為替レート	US\$ 149円	130円(前回)	+19円
	EUR 158円	143円(前回)	+15円
	RUB 1.5円	1.6円(前回)	▲0.0円
TSR20※	140 ^円	129 ^円 (前回)	+11 ^円 ※SICOM TSR20 1M
WTI	83 ^{ドル}	75 ^{ドル} (前回)	+8 ^{ドル}

					(億円)	
	2023年 予想	2022年 実績	増減	増減率	2023年 前回予想	前回比 増減
売上収益	10,000	8,605	+1,395	+16.2%	10,000	-
事業利益 ※1	900	701	+199	+28.4%	845	+55
(事業利益率)	(9.0%)	(8.1%)	(+0.9%)		(8.5%)	(+0.5%)
営業利益	925	689	+236	+34.3%	870	+55
(営業利益率)	(9.3%)	(8.0%)	(+1.3%)		(8.7%)	(+0.6%)
当期利益 ※2	625	459	+166	+36.1%	570	+55

※1 事業利益 = 売上収益 - (売上原価 + 販売費及び一般管理費)

※2 親会社の所有者に帰属する当期利益

事業別セグメント (通期)

(前回予想から変更あり)



						(億円)	
		2023年 予想	2022年 実績	増減	増減率	2023年 前回予想	前回比 増減
売上 収益	タイヤ 合計	8,900	7,543	+1,357	+18.0%	8,870	+30
	(タイヤ)	(6,540)	(5,985)	(+555)	(+9.3%)	(6,360)	(+180)
	(YOHT)	(1,340)	(1,558)	(▲218)	(▲14.0%)	(1,410)	(▲70)
	(Y-TWS)	(1,020)	-	(+1,020)	-	(1,100)	(▲80)
	MB	1,015	962	+53	+5.5%	1,035	▲20
	その他	85	99	▲14	▲14.3%	95	▲10
	合計	10,000	8,605	+1,395	+16.2%	10,000	-
事業 利益	タイヤ 合計	837	668	+169	+25.2%	780	+57
	(タイヤ)	(637)	(447)	(+190)	(+42.4%)	(561)	(+76)
	(YOHT)	(170)	(221)	(▲51)	(▲23.1%)	(177)	(▲7)
	(Y-TWS)	(30)	-	(+30)	-	(42)	(▲12)
	MB	62	40	+22	+56.4%	62	-
	その他	1	▲8	+9	-	3	▲2
	セグメント間消去	-	0	▲0	-	-	-
	合計	900	701	+199	+28.4%	845	+55

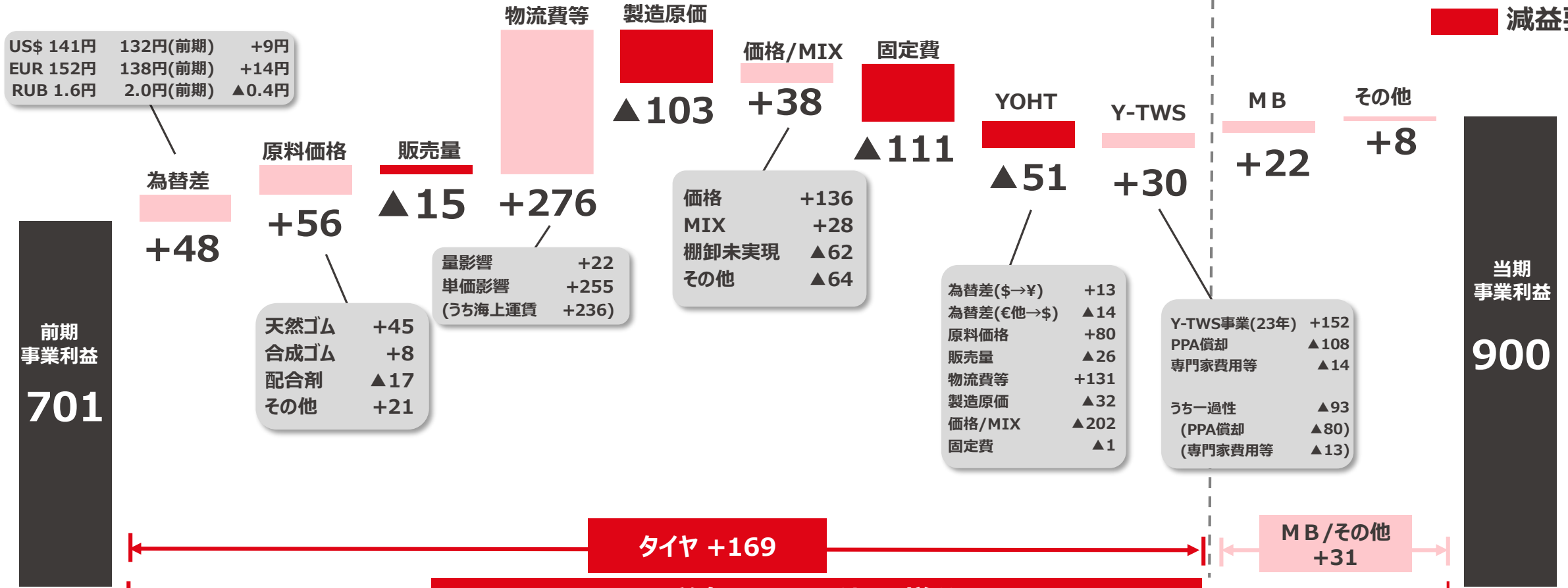
事業利益増減要因 (通期)



2023年 (通期予想)

(億円)

増益要因
減益要因



	為替差	原料価格	販売量	物流費等	製造原価	価格/MIX	固定費	YOHT	Y-TWS	MB	その他	合計
前回予想	+7	+64	+25	+260	▲106	+0	▲138	▲44	+42	+22	+10	+144
前回比	+41	▲8	▲40	+16	+3	+38	+27	▲7	▲12	-	▲2	+55

将来見通しに関する注意事項

この資料に含まれている将来に関する見通しや予測は、現在入手可能な情報を基に当社の経営者が判断したものです。実際の成果や業績は、さまざまなリスクや不確定な要素により、記載されている内容と異なる可能性があります。

(ご参考) タイヤ販売本数前年比伸張率



販売本数伸張率

タイヤ事業		2022年			2023年		
		3Q単体	3Q累計	年間実績	3Q単体	3Q累計	年間予想
国内	OE	120%	94%	98%	108%	111%	114%
	REP	124%	118%	108%	91%	95%	97%
海外	OE	121%	109%	100%	80%	82%	87%
	REP	109%	105%	102%	104%	106%	108%

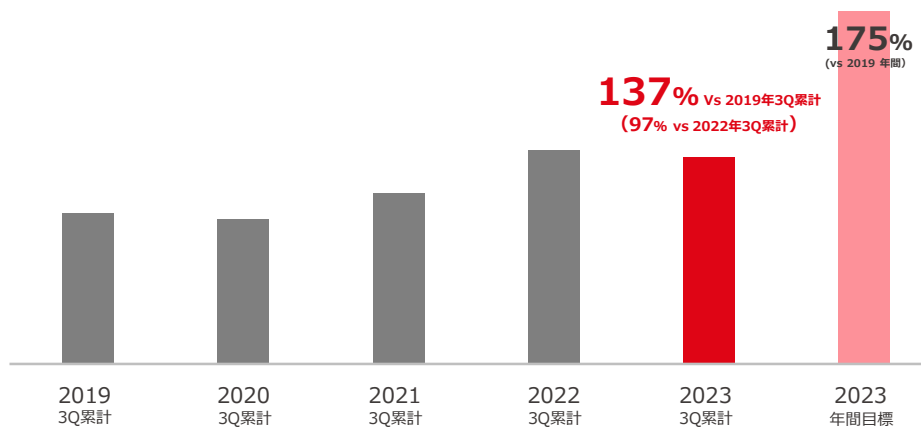
地域別販売本数前年伸張率／四半期・年間

	2022年			2023年			地域別構成比		
	3Q単体	3Q累計	年間実績	3Q単体	3Q累計	年間予想	2022年 年間	2023年 3Q単体	2023年 3Q累計
日本	122%	109%	105%	96%	100%	102%	39%	35%	36%
北米	108%	104%	103%	97%	100%	100%	20%	21%	21%
欧州	109%	112%	101%	97%	100%	101%	6%	7%	7%
ロシア	54%	60%	59%	191%	145%	-	2%	4%	3%
中国	123%	107%	97%	84%	85%	95%	16%	15%	15%
アジア	126%	123%	119%	103%	105%	107%	12%	13%	13%
その他	115%	102%	101%	90%	110%	107%	5%	5%	6%
合計	116%	107%	103%	97%	100%	102%	-	-	-

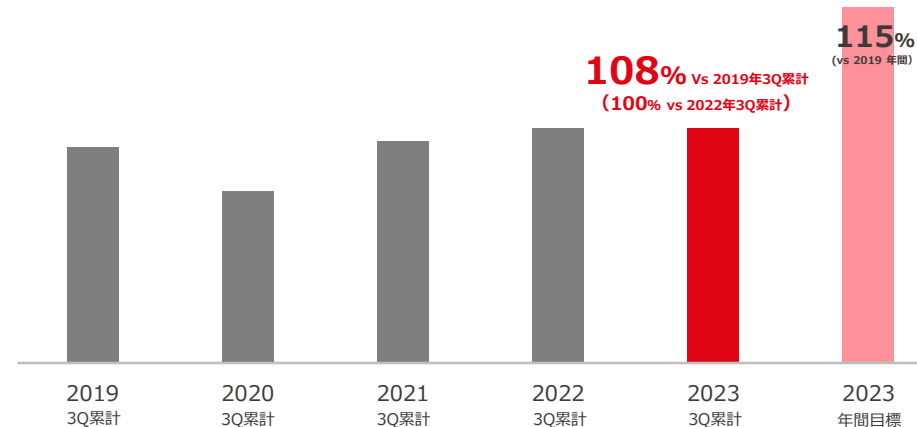
(ご参考) タイヤ消費財商品別販売本数累計推移



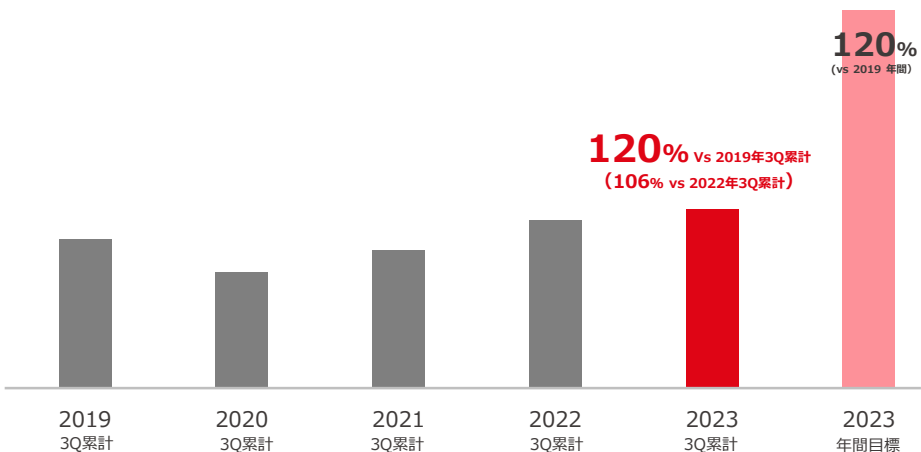
ADVAN



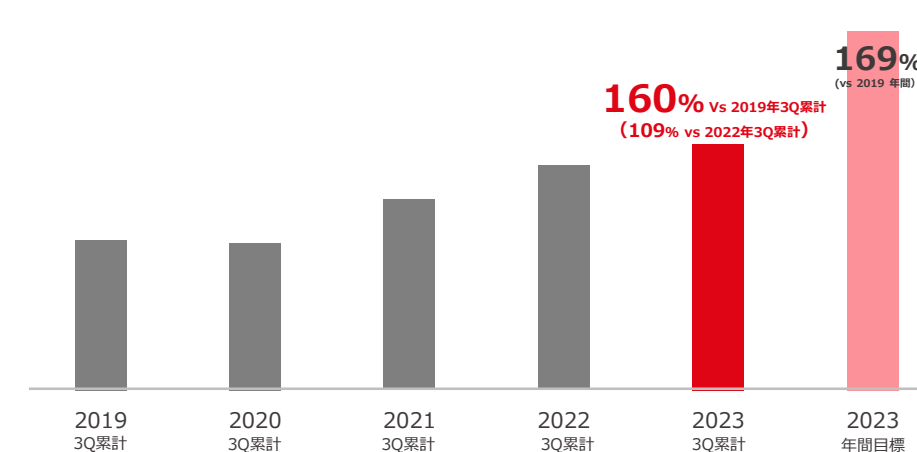
GEOLANDAR



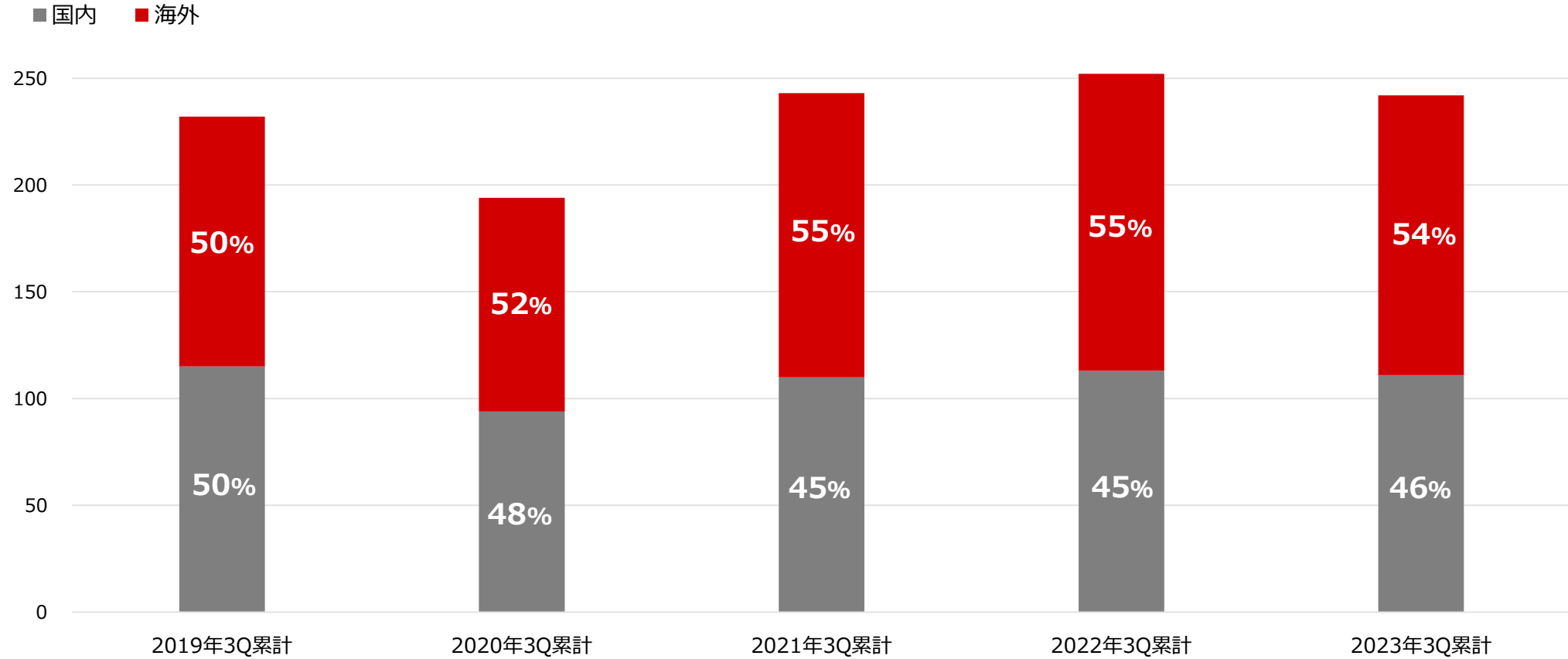
WINTER



18インチ以上



(ご参考) タイヤ生産ゴム量実績 (年間累計推移)

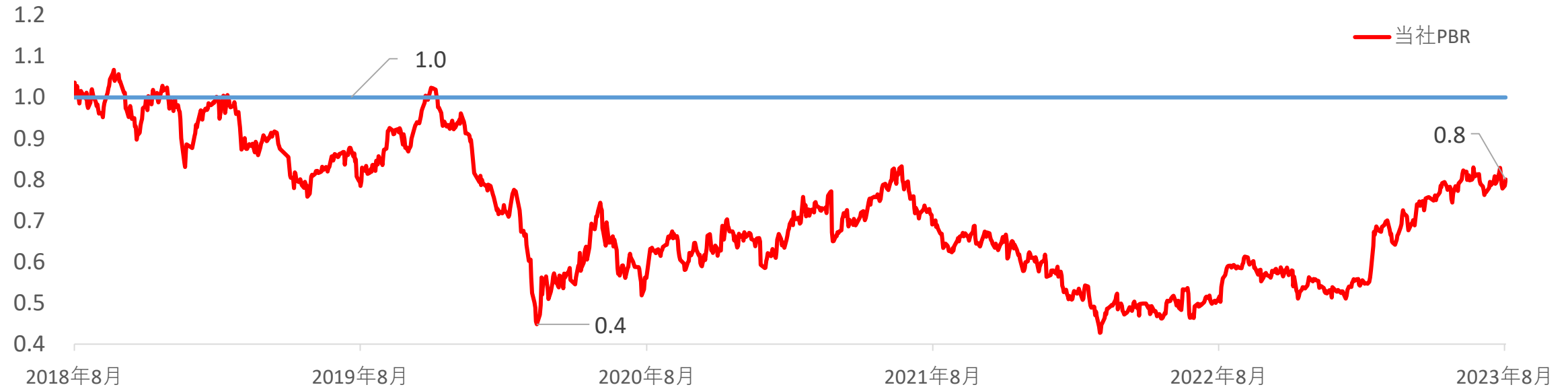


(単位：千トン)

	2019年3Q累計	2020年3Q累計	2021年3Q累計	2022年3Q累計	2023年3Q累計
国内	115	94	110	113	111
海外	117	100	133	139	131
合計	232	193	242	252	242

資本効率の改善

□ 市場評価－過去5年PBR推移



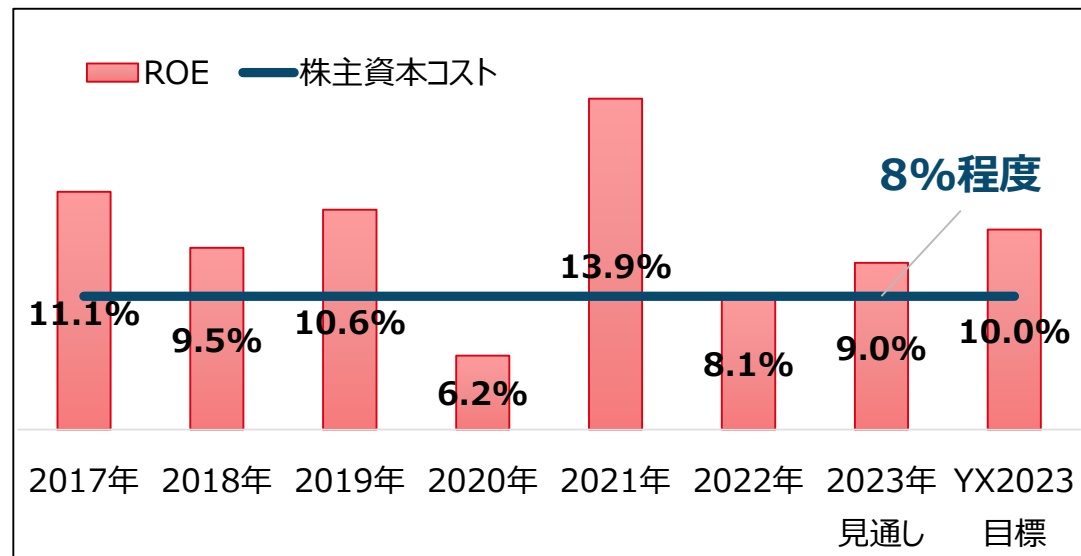
- ✓ PBRは、コロナの影響などもあり2020年に0.4倍まで低下し、足元0.8倍まで改善したものの、1倍には未達
- ✓ 資本市場との対話では、成長ドライバーであるOHT事業・市場の魅力をよりアピールしてほしいなどのご意見を頂戴
- ✓ 対話の促進や開示改善により、当社の成長戦略についてよりご理解いただけるように努め、市場評価の向上を図る

□ 資本収益性・資本コスト

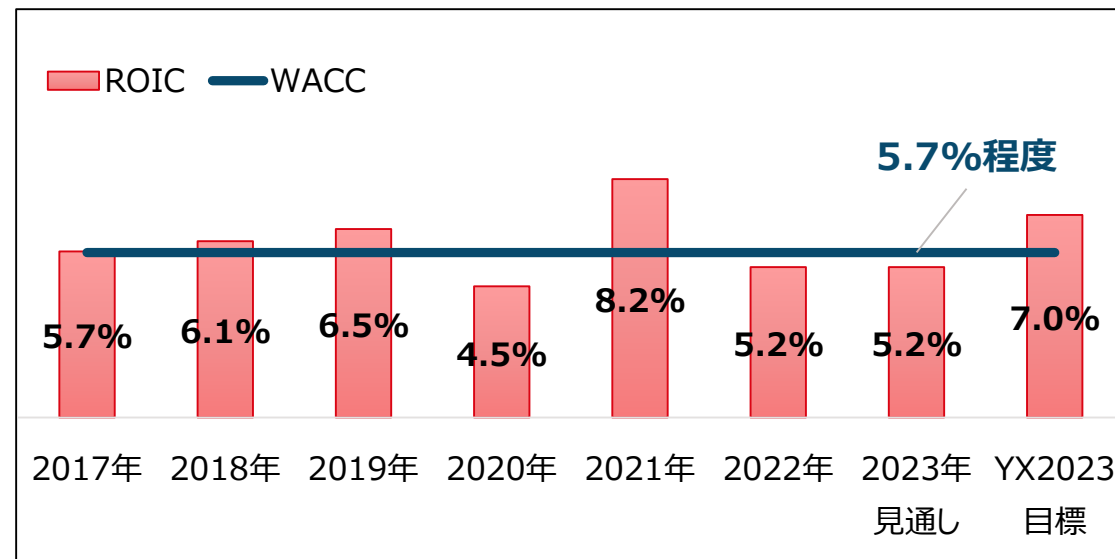
資本収益性の向上

- ✓ **資産圧縮**：資産売却や手元資金削減などのB/Sマネジメントにより、資産効率の向上と有利子負債の圧縮を図る
- ✓ **成長投資**：営業CF及び政策保有株式などの資産売却により創出した資金をTWS買収などの戦略分野へ積極投資、収益力を向上
- ✓ **資本コスト経営**：厳格な投資採択基準（割引回収期間法/投資国別ハードルレート）により投資を厳選、資本収益性を向上

ROE / 株主資本コスト



ROIC / WACC



*1.株主資本コスト：CAPM及び投資家との対話から推定

*2.WACC：CAPMベース

資本効率の改善③ 企業価値の向上



- 戦略投資によるROE向上とサステナビリティ機会の活用によるサステナビリティ価値向上により、企業価値を向上
- 資本市場との対話促進による、資本コストの低減と期待成長率の向上

企業価値向上

$$\text{PBR} = \frac{P}{\text{BPS}}$$

=

$$\text{ROE} = \frac{\text{EPS}}{\text{BPS}}$$

×

$$\text{PER} = \frac{P}{\text{EPS}}$$

$$\frac{1}{R (\text{資本コスト}) - g (\text{期待成長率})}$$

価値向上
のための
対話

R (資本コスト) 低減

- 対話促進：IR (対話推進、社長メールミーティング)
- 負債活用：強固なバンクフォーメーション
- ガバナンス：監査等委員会設置会社 (2023年3月)

g (期待成長率) 向上

持続的
成長

- YX2023：『深化』と『探索』
(サステナビリティ/市場変化の取り込み)
- 成長性：OHT事業/市場の魅力、成長性の発信

増収増益

- 深化 (高付加価値品比率の最大化)
- 探索 (TWS買収)

戦略投資

- MIX投資
- OHT増産/M&A

投資判断

- 割引回収期間法
- 投資国別ハードル

資本効率

- 資産売却
(不動産、政策保有株式、事業)
- 現預金削減 (グループ資金活用)

財務レバレッジ

- 適度な財務レバレッジ：負債活用、JCR発行体格付『A+』
- 最適資本構成管理に基づく配当

ROE > CoE
(エクイティコスト)

8%以上

サステナビリティ価値
(非財務資本)

- サステナビリティ 機会の活用：収益力向上 (EV)
- サステナビリティ リスクへの対応：資本コスト低減



(カーボンニュートラル、サキキラーII/III)

企業価値向上
PBR1倍以上



YOKOHAMA Transformation 2023